

「別表-1」

対象種目	層別	資格	力量要件
S D	1	コーラー コーチ	コーラー育成のための講師ができる。 * 詳細なライセンス基準は「別表-2-1」による。
	2	シニア コーラー	講習会や外部パーティーでコールやワークショップができる。 * 詳細なライセンス基準は「別表-2-2」による。
	3	コーラー	クラブ例会でコールやワークショップができる。 * 詳細なライセンス基準は「別表-2-3」による。
R D	1	インストラクター コーチ	キュアやインストラクター育成のための講師ができる。 * 詳細なライセンス基準は「別表-2-4」による。
	2	シニア インストラクター	講習会や外部パーティーでワークショップができる。 * 詳細なライセンス基準は「別表-2-5」による。
	3	インストラクター	クラブ例会でワークショップができる。 * 詳細なライセンス基準は「別表-2-6」による。
		キュアー	クラブ例会や外部パーティーでキューイングできる。 * 詳細なライセンス基準は「別表-2-7」による。
CWD	1	インストラクター コーチ	CWDインストラクター育成のための講師ができる。 * 詳細なライセンス基準は「別表-2-8」による。
	2	シニア インストラクター	講習会や外部パーティーでカントリーウェスタンダンスが指導できる。 * 詳細なライセンス基準は「別表-2-9」による。
	3	インストラクター	クラブ例会や外部パーティーでラインダンスが指導できる。 * 詳細なライセンス基準は「別表-2-10」による。

実技指導者ライセンスの基準

コーラー コーチ

区分	No.	必要な力量	判定方法		
			面接試験	筆記試験	実技試験
基本	1	シニア コーラーとして必要な力量を備えている	●	●	●
コーチング	2	コーラーコーチとしての心構えを理解している	●	●	
	3	パターコールの種類や構成について解説することができる		●	
	4	パターコールの基礎を実技指導することができる		●	
	5	FASRIについて解説することができる		●	
	6	モジュールやコレオグラフィの作り方を指導することができる		●	
	7	シンギングコールの基本を指導することができる		●	
	8	モジュラー コールの理論と実技を指導することができる		○	
	9	サイト コールの理論と実技を指導することができる		○	
	10	メンタル イメージ コールの理論と実技を指導することができる		○	
	11	CRaMSの理論と実技を指導することができる		○	
	12	例会におけるワークショップのノウハウを指導することができる		●	
	13	初心者講習の心構えとノウハウを指導することができる		●	
	14	音響機材の取り扱い方を指導することができる		●	
	15	SD関連のWeb-Siteやソフトウェアにつて指導することができる		●	

○ : 受験者による選択

実技指導者ライセンスの基準

シニア コーラー

区分	No.	必要な力量	判定方法		
			面接試験	筆記試験	実技試験
基本	1	S協の組織や事業について理解している		●	
	2	S協倫理要綱を理解している		●	
	3	S協プログラムポリシーを理解している		●	
	4	ダンサー、クラブリーダー及びコーラーへの指針を理解している		●	
	5	SD/RDプログラム運用についての指針を理解している		●	
	6	音楽著作権に関する基本的な知識がある		●	
	7	自分が所属するクラブやS協組織の仕事に協力できる	●		
	8	指導者としてふさわしい服装・態度・言葉使いを理解している	●		
	9	SD十則を理解している		●	
	10	メインストリームの定義を理解し正しく踊ることができる			●
	11	SDにおけるマナーを理解し、笑顔で踊ることができる			●
	12	コーラーとしての心構えを理解している		●	
理論	13	コールシステムの種類を理解している		●	
	14	パターコールの構成を理解している		●	
	15	FASRを理解している		●	
	16	対称の原理を理解している		●	
コール技術	17	適切な声量でコールができる			●
	18	聞き取りやすい発音でコールができる			●
	19	ホーダウンのビートに乗ってコールができる			●
	20	タイミング良くスムーズに踊らせることができる			●
	21	ボディフローとハンズワークを理解し実践することができる			●
	22	スタンダード アプリケーションを理解し実践することができる			●
	23	シンギングコールを実践することができる			●
	24	メモリー コールを実践することができる			○
	25	モジュラー コールを実践することができる			○
	26	サイト コールを実践することができる			○
	27	メンタル イメージ コールを実践することができる			○
	28	CRaMSを実践することができる			○
指導技術	29	ビギナークラスの指導カリキュラムを作成することができる		●	
	30	ワークショップで効果的な指導をすることができる			●
機材・ITの知識	31	音響機材の取り扱い方法を理解している			●
	32	音楽とマイクの音量をバランスよく設定できる			●
	33	コールのための音源や機材の購入方法を知っている		●	

○ : 受験者による選択

実技指導者ライセンスの基準

コーラー

区分	No.	必要な力量	判定方法		
			面接試験	筆記試験	実技試験
基本	1	S協の組織や事業について理解している		●	
	2	S協倫理要綱を理解している		●	
	3	S協プログラムポリシーを理解している		●	
	4	ダンサー、クラブリーダー及びコーラーへの指針を理解している		●	
	5	SD/RDプログラム運用についての指針を理解している		●	
	6	音楽著作権に関する基本的な知識がある		●	
	7	自分が所属するクラブやS協組織の仕事に協力できる	●		
	8	指導者としてふさわしい服装・態度・言葉使いを理解している	●		
	9	SD十則を理解している		●	
	10	メインストリームの定義を理解し正しく踊ることができる			●
	11	SDにおけるマナーを理解し、笑顔で踊ることができる			●
	12	コーラーとしての心構えを理解している		●	
理論	13	コールシステムの種類を理解している		●	
	14	パターコールの構成を理解している		●	
	15	FASRを理解している		●	
	16	対称の原理を理解している		●	
コール技術	17	適切な声量でコールができる			●
	18	聞き取りやすい発音でコールができる			●
	19	ホーダウンのビートに乗ってコールができる			●
	20	タイミング良くスムーズに踊らせることができる			●
	21	ボディフローとハンズワークを理解している			●
	22	シンギングコールが実践できる			●
	23	音響機材の取り扱い方法を理解している			●

実技指導者ライセンスの基準

RDインストラクター コーチ			判定方法		
			面接試験	筆記試験	実技試験
区分	No.	必要な力量			
基本	1	シニア インストラクターとして必要な力量を備えている	●	●	●
コーチング	2	インストラクター コーチとしての心構えを理解している	●	●	
	3	キューイングの基礎を実技指導することができる		●	
	4	キューカードの作り方を指導することができる		●	
	5	モジュールの作り方と活用法を指導することができる		●	
	6	ワークショップのノウハウを指導することができる		●	
	7	初心者講習の心構えとノウハウを指導することができる		●	
	8	例会やパーティーのプログラムの作り方を指導することができる		●	
	9	初心者講習のカリキュラムの作り方を指導することができる		●	
	10	音響機材の取り扱い方を指導することができる		●	
	11	RD指導のための音源や機材の購入方法を指導することができる		●	
	12	RD関連のWeb-Siteやソフトウェアについて指導することができる		●	

実技指導者ライセンスの基準

RDシニア インストラクター

区分	No.	必要な力量	判定方法		
			面接試験	筆記試験	実技試験
基本	1	S協の組織や事業について理解している		●	
	2	S協倫理要綱を理解している		●	
	3	S協プログラムポリシーを理解している		●	
	4	SD/RDプログラム運用についての指針を理解している		●	
	5	S協推薦曲及び推奨曲、クラシックについて理解している		●	
	6	音楽著作権に関する基本的な知識がある		●	
	7	自分が所属するクラブやS協組織の仕事に協力できる	●		
	8	指導者としてふさわしい服装・態度・言葉使いを理解している	●		
	9	ダンサーとしての心構えを理解している		●	
	10	リズムごとに正しいカウントを取ることができる			●
	11	正しいポジションを理解し、実践できる			●
	12	基本の8方向を理解している			●
	13	PHASE-I, PHASE-IIのダンスを理解し、正しく踊ることができる			●
	14	PHASE-III※のダンスを理解し、正しく踊ることができる			●
	15	インストラクターとしての心構えを理解している		●	
理論	16	ROUNDALABのPhaseレイティング システムを理解している		●	
指導技術	17	キューシートに書かれた解説を理解することができる		●	
	18	聞き取りやすく適切なタイミングでキューイングができる			●
	19	適切な言い方でキューイングすることができる			●
	20	PHASE-I, PHASE-II, PHASE-III※のフィギュアとアクションの指導ができる			●
	21	S協推薦曲・推奨曲の指導ができる			●
	22	注意が必要なポイントを要領よく説明できる			●
	23	初心者に対し分かりやすく教えることができる			●
	24	PHASE-I, PHASE-IIのダンスを振付けることができる		●	
	25	例会の指導計画や初心者講習会のカリキュラムを作ることができる		●	
	26	パーティーのプログラムを作ることができる		●	
機材・IT の知識	27	音響機材の取り扱いを方法を理解している			●
	28	適当な音量と速度を設定するための調整ができる			●
	29	RD指導のための音源や機材の購入方法を知っている		●	

※ : Two Step、Waltz、Rumba、Cha Cha、Foxtrotのリズムに限る

実技指導者ライセンスの基準

RDインストラクター			判定方法		
			面接試験	筆記試験	実技試験
区分	No.	必要な力量			
基本	1	S協の組織や事業について理解している		●	
	2	S協倫理要綱を理解している		●	
	3	S協プログラムポリシーを理解している		●	
	4	SD/RDプログラム運用についての指針を理解している		●	
	5	S協推薦曲及び推奨曲、クラシックについて理解している		●	
	6	音楽著作権に関する基本的な知識がある		●	
	7	自分が所属するクラブやS協組織の仕事に協力できる	●		
	8	指導者としてふさわしい服装・態度・言葉使いを理解している	●		
	9	ダンサーとしての心構えを理解している		●	
	10	リズムごとに正しいカウントを取ることができる			●
	11	正しいポジションを理解し、実践できる			●
	12	基本の8方向を理解している			●
	13	PHASE- I ,PHASE-IIのダンスを理解し、正しく踊ることができる			●
	14	インストラクターとしての心構えを理解している		●	
理論	15	ROUNDALABのPhaseレイティング システムを理解している		●	
指導技術	16	キューシートに書かれた解説を理解することができる		●	
	17	聞き取りやすく適切なタイミングでキューイングができる			●
	18	適切な言い方でキューイングすることができる			●
	19	PHASE- I ,PHASE-IIのフィギュアとアクションの指導ができる			●
	20	注意が必要なポイントを要領よく説明できる			●
	21	音響機材の取り扱い方法を理解している			●

実技指導者ライセンスの基準

RDキューアー

区分	No.	必要な力量	判定方法		
			面接試験	筆記試験	実技試験
基本	1	S協の組織や事業について理解している		●	
	2	S協倫理要綱を理解している		●	
	3	S協プログラムポリシーを理解している		●	
	4	SD/RDプログラム運用についての指針を理解している		●	
	5	S協推薦曲及び推奨曲、クラシックについて理解している		●	
	6	音楽著作権に関する基本的な知識がある		●	
	7	自分が所属するクラブやS協組織の仕事に協力できる	●		
	8	指導者としてふさわしい服装・態度・言葉使いを理解している	●		
	9	ダンサーとしての心構えを理解している		●	
	10	リズムごとに正しいカウントを取ることができる			●
	11	正しいポジションを理解し、実践できる			●
	12	基本の8方向を理解している			●
	13	PHASE- I ,PHASE-IIのダンスを理解し、正しく踊ることができる			●
	14	キューアーとしての心構えを理解している		●	
理論	15	ROUNDALABのPhaseレイティング システムを理解している		●	
キューイング 技術	16	キューシートに書かれたヘッドキューを読むことができる			●
	17	キューシートに書かれた解説を理解することができる		●	
	18	適切な声量でキューイングができる			●
	19	聞き取りやすい発音でキューイングすることができる			●
	20	適切なタイミングでキューイングすることができる			●
	21	適切な言い方でキューイングすることができる			●
	22	音響機材の取り扱い方法を理解している			●

実技指導者ライセンスの基準

CWDインストラクター コーチ

			判定方法		
			面接試験	筆記試験	実技試験
区分	No.	必要な力量			
基本	1	シニア インストラクターとして必要な力量を備えている	●	●	●
コーチング	2	ワークショップのノウハウを指導することができる		●	
	3	初心者講習の心構えとノウハウを指導することができる		●	
	4	インストラクター養成のカリキュラムを作成することができる		●	
	5	初心者講習のカリキュラムの作り方を指導することができる		●	
	6	講習会やパーティーのプログラムの作り方を指導することができる		●	
	7	Line Danceの振付方法を指導することができる		●	
	8	音源や機材の購入方法を指導することができる		●	
	9	音響機材の取り扱い方を指導することができる		●	
	10	CWD関連のWeb-Siteを紹介し活用方を指導することができる		●	

実技指導者ライセンスの基準

CWDシニア インストラクター			判定方法		
			面接試験	筆記試験	実技試験
区分	No.	必要な力量			
基本	1	S協の組織や事業について理解している		●	
	2	S協倫理要綱を理解している		●	
	3	S協プログラムポリシーを理解している		●	
	4	音楽著作権に関する基本的な知識がある		●	
	5	自分が所属するクラブやS協組織の仕事に協力できる	●		
	6	指導者としてふさわしい服装・態度・言葉使いを理解している	●		
	7	ダンサーとしての心構えを理解している		●	
	8	BeginnerレベルのLine Danceを正しく踊ることができる			●
	9	インストラクターとしての心構えを理解している		●	
指導の技術	10	Line DanceのStep Sheetを正しく理解することができる		●	
	11	Line Danceを指導する上での注意点を理解している		●	
	12	BeginnerレベルのLine Danceを指導することができる			●
	13	カウントで教えることができる			●
	14	踊りながら適当なタイミングでステップ名が言える			●
	15	出だしのカウントやTag、Restartなど振付と音楽の関係を理解している			●
	16	練習曲を効果的に活用することができる			●
	17	BeginnerレベルのLine Danceの振付ができる		●	
	18	ビギナークラスや体験教室のカリキュラムを作成することができる		●	
	19	クラブ例会の指導計画を作成することができる		●	
	20	パーティーや講習会のプログラムを作成することができる		●	
機材・ITの知識	21	音響機材の取り扱い方を理解している			●
	22	音源や機材の購入方法を理解している		●	
	23	CWD関連のWeb-Siteを活用することができる		●	

実技指導者ライセンスの基準

CWDインストラクター

区分	No.	必要な力量	判定方法		
			面接試験	筆記試験	実技試験
基本	1	S協の組織や事業について理解している		●	
	2	S協倫理要綱を理解している		●	
	3	S協プログラムポリシーを理解している		●	
	4	音楽著作権に関する基本的な知識がある		●	
	5	自分が所属するクラブやS協組織の仕事に協力できる	●		
	6	指導者としてふさわしい服装・態度・言葉使いを理解している	●		
	7	ダンサーとしての心構えを理解している		●	
	8	BeginnerレベルのLine Danceを正しく踊ることができる			●
	9	インストラクターとしての心構えを理解している		●	
指導の 技術	10	Line DanceのStep Sheetを正しく理解することができる		●	
	11	Line Danceを指導する上での注意点を理解している		●	
	12	BeginnerレベルのLine Danceを指導することができる			●
	13	カウントで教えることができる			●
	14	踊りながら適当なタイミングでステップ名が言える			●
	15	出だしのカウントやTag、Restartなど振付と音楽の関係を理解している			●
	16	音響機材の取り扱い方法を理解している			●

層別 条件	1	2	3
	SD	コーラー コーチ	シニア コーラー
RD	インストラクター コーチ	シニア インストラクター	インストラクター/キューアー
CWD	インストラクター コーチ	シニア インストラクター	インストラクター
受験資格	一般社団法人 日本スクエアダンス協会 普通会員		
ダンス経験年数	5年以上	3年以上	2年以上
コール等 指導経験年数	3年以上	2年以上	
検定受験申請	基準を満たした者 申請書 DATE BASE登録 受験料納付		
ライセンス登録	検定試験合格者 申請書 登録料納付	検定試験合格者 申請書 登録料納付	検定試験合格者 申請書 登録料納付
提出先	検定受験申請は統括支部ライセンス委員会、ライセンス登録はS協ライセンス委員会		
ライセンス章	ゴールド	シルバー	ブロンズ

- 1) 上記の基準は、検定受験申請時の基準とし、検定受験は層別 3 からの進級方式とする。
- 2) ライセンス登録の申請期限は、検定試験合格後 3年間とする。
- 3) 筆記試験、実技試験のいずれか合格後、3年間有効とする。
- 4) 規程第21条 1項 (5)号に定める、日連指導者資格保持者の処遇については、別に定める「書類審査」及びライセンス登録料の納付を以て行なう。
- 5) 日連指導者資格保持者は、実技指導者ライセンス登録申請及び登録更新申請の際には、保持を証明する資料を添付すること。

実技指導者ライセンス 諸費用

2019/5/25

種 類	種 目 / 層 別	費 用	納付先	S協委員会	統括支部委員会			
検定受験料	SD コーラー コーチ RD インストラクター コーチ CWD インストラクター コーチ	3,000 (*1,000)	統括支部委員会		100/100			
	SD シニア コーラー RD シニア インストラクター CWD シニア インストラクター	2,000 (*1,000)						
	SD コーラー RD インストラクター/キューア CWD インストラクター	1,000						
	SD コーラー コーチ RD インストラクター コーチ CWD インストラクター コーチ	7,000 (*4,000)				S協委員会	70/100	30/100
	SD シニア コーラー RD シニア インストラクター CWD シニア インストラクター	5,000 (*3,000)						
	SD コーラー RD インストラクター/キューア CWD インストラクター	3,000 (*2,000)						
SD コーラー コーチ RD インストラクター コーチ CWD インストラクター コーチ	2,500 (*1,000)	S協委員会	70/100	30/100				
SD シニア コーラー RD シニア インストラクター CWD シニア インストラクター	2,000 (*1,000)							
SD コーラー RD インストラクター/キューア CWD インストラクター	1,500 (*1,000)							

- 1) 表中、ライセンス委員会をS協委員会、統括支部ライセンス委員会を統括支部委員会と略称する。
- 2) 規程第21条 1項 (4)号に係る者については、(*)内の諸費用を適用する。
- 3) 諸費用については納付先委員会が取り扱い、所定の割合で配分し総額の下2桁以下を四捨五入する。
- 4) 複数のライセンスを保持する者の更新料については、保持するライセンスのうち最上層一種目のみの更新料を納めることとする。